

災害によって取り残される人をなくすための活動への助成

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金 2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金 第5次助成



<申請受付期間>2022年8月1日(月)～8月26日(金) 17:00

<助成対象事業期間>2022年10月1日(土)～2023年3月31日(金)

助成金額 | 助成総額 200 万円程度 1 団体あたり 10 万円から 50 万円程度

<オンライン説明会> ① 8月5日(金) 15:00～16:00 ② 8月18日(木) 10:30～11:30

<個別相談> 申請受付期間中随時(8月11日～16日は除く)

* 説明会・個別相談はいずれも事前のお申込みが必要です。ご希望の方は「希望日時・団体名・ご担当者名を明記のうえ、メール(info@chibanowafund.org)でお申込みください。

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金は、2019年台風15号、19号ならびに10月豪雨による千葉県内の被災地における支援活動を支えるために「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」を設置し、災害直後からこれまで4回の助成を行いました。

被災から3年、被害を受けた地域の復興が進む一方、県内では新型コロナウイルス感染症の影響による地域の防災活動の停滞や、災害弱者の孤立も見受けられます。また、公的支援につながりにくい課題の存在も、被災者へのアウトリーチ活動等によって明らかになってきました。さらに、毎年のように大きな自然災害が発生する中で、従来の災害・防災対策では地域の多様なニーズに対応しきれないという課題があることも見えてきています。当財団では、これらの課題解決に向けて活動する千葉県内の団体を対象に第5次助成を実施することで、災害によって取り残される人をなくすことを目指します。

本プログラムは「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」を通じて多数の個人・企業等の寄付者のご支援により実施するものです。

【対象となる事業】

千葉県内の団体が実施する次の3分野の取り組みに必要な活動費、成果物の作成

- ① 千葉県内での災害の影響を受けた活動場所の再生・整備に関する活動
- ② 千葉県内での災害支援活動、復興活動を通じて顕在化した地域の課題に対する活動
- ③ 過去の災害からの気づきや学びを今後の災害に活かす活動

例えば、

- ・アウトリーチ活動の充足に向けた取り組み
- ・被災者の孤立防止やコミュニティ形成につながる取り組み
- ・女性、妊産婦の視点に立った避難所を作るための取り組み
- ・盲ろう者の避難誘導支援、インクルーシブ防災への取り組み
- ・外国人を対象とした防災活動や避難所案内に関する取り組み
- ・ペットの災害対策に関する取り組み
- ・コロナ禍で実施できない地域の防災活動を工夫して行う取り組み
- ・複数の地縁コミュニティやテーマコミュニティが横断的に参加する防災訓練や炊き出し訓練
- ・災害により被害を受けた場所の環境整備や再生に関連する取り組み
- ・災害の経験を次世代に伝える取り組み(映像、冊子、セミナー等)
- ・防災、減災の担い手を育成する活動
- ・その他、申請団体が被災地ニーズを把握しており、復興につながる取り組み